

柳生群だより

11月号



Vol. 96

セルフジャッジについて

プロの大会では、審判がカウントのコールやアウト・フォルトのジャッジ等をしてくみませんが、アマチュアの大会では自分達でジャッジをしなければいけません。その中ではセルフジャッジで大切な5つのことをご紹介いたします。

- ① 判定が難しい場合は「グッド」、相手に有利な判定をしましょう。
 - ② 「アウト」「フォルト」はボールとラインの間にはきりと隙間が見えた時。
 - ③ サーバーは相手に聞こえる声でスコアをアナウンスしましょう。
 - ④ 相手に聞こえる声と相手に見えるハンドシグナルを使い、速やかにジャッジコールをしましょう。
 - ⑤ コート外の人にはセルフジャッジについて口出しをしてはいけません。
- お互いに気持ちよくプレーすま為にもこの5つを守り、試合に臨みましょう。

ノーアドバンテージという言葉を聞いたことがありますか？ アマチュアの大会の場合は、ノーアドバンテージルールで試合を進めることが多くあります。

公式の試合ではスコアが40、40になると、お互いのスコアが2点差になるまで試合を続行します。

しかしノーアドバンテージルールを採用している試合では40、40になると一本勝負になり、次のポイントを獲得したほうがゲームを獲得します。

この時、レシーバーがサーブを受けるサイドを決めることが出来ます。

そしてサーバーもレシーバーが希望するサイドからサーブを打たなければいけません。

但し、ミックスダブルスではサーバーが女性の場合はレシーバーも女性、サーバーが男性の場合はレシーバーも男性になります。

楽しくテニスをすま為、肘が痛いというお声をよく耳にします。これは腕の使い過ぎによる負担、所謂手打ちになると肘を痛める原因となります。

腕だけでなく体全身を使って打つことで腕の怪我のリスクを減らすことが出来ます。

皆様も正しいフォームを身につけて、長くテニスを楽しめましょう。

テニスクイズ

くルールを学んで楽しくテニス

「前回の問題」

先日開催された、2023年全米オープン男子シングルス優勝者は誰でしょうか？

「前回の答え」

ノバク・ジョコビッチ

「問題」

サーバーは何回までトスをやり直すことが出来てしまうか？